



2ハンドルシャワー専用混合栓

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、2ハンドルシャワー専用混合栓をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工・使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

必ず実行 必ず実行していただく「強制」を示します。

禁止 してはいけない「禁止」を示します。

注意 気をつけていただきたい「注意」を示します。

接触禁止 「接触禁止」を示します。

施工上のご注意

必ず実行 ●配管内のゴミや砂等は、完全に洗い流してください。
●給湯機からの配管は、配管圧力損失を少なくするため最短距離で配管し、必ず保温材を巻いてください。
●各部の接続を行う際は、パッキンがついていることやそれらに破損・変形がないことを必ずご確認ください。漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。

禁止 ●温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。
●元止式湯沸器には使用しないでください。
●給湯に蒸気を使用しないでください。
●湯と水を逆に配管しないでください。やけどや器具破損の恐れがあります。
●給湯温度は85℃まででご使用ください。85℃以上の高温でご使用になると、製品の寿命が短くなるだけでなく、各部品の変形や破損により漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。
●製品にもたれる等無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。

注意 ●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
●給水・給湯圧力に圧力差があると、温度調整がしづくなります。やけど防止のため、給水圧力を給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
*電気温水器と組み合わせる場合は、特にご注意ください。
●他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯をご使用中に湯温が急上昇することがあります。やけどの恐れがあるため、やけどの恐れがないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。

使用上のご注意

必ず実行 ●使用する前に、必ず適温であることをご確認ください。高温の湯が出てやけどをする恐れがあります。
●ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉じると配管に衝撃が加わり、配管から漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。
●湯をご使用時は、水側ハンドルから開いてください。その後ゆっくり湯側ハンドルを開き、お好みの温度に調節してください。湯側ハンドルを先に開くと高温の湯が出てやけどをする恐れがあります。
●湯をご使用後は、必ず水側ハンドルを開き、しばらく水を流してから止水してください。次回使用時に水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
●可動部が固く動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因となるため修理をご依頼ください。

禁止 ●シャワーを使用して浴槽に湯をはらないでください。シャワーヘッドが破損し、逆流の恐れがあります。
●給湯温度は85℃まででご使用ください。誤った操作によるやけどを防止するため、給湯温度は60℃程度を推奨いたします。
●シャワーヘッドには60℃以上の湯を通さないでください。シャワーヘッドの変形や破損により、やけどやケガをする恐れがあるため、45℃程度以下を推奨いたします。
●製品にもたれる等無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。

注意 ●湯側ハンドルのみを開く場合、高温の湯がそのまま出ます。取扱いには十分ご注意ください。
●小さいお子様だけのご使用は避けてください。やけどやケガをする恐れがあります。
●他所の水栓を同時使用されると、やけどの恐れがありますのでご注意ください。同時使用により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。

接触禁止 水栓本体の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接肌を触れないでください。

製品同梱明細

施工される際は、下記の部材があることをご確認ください。

- 混合栓本体 ●取付金具(2個) ●ナット(2個) ●パッキン(2個) ●六角レンチ(対辺12ミリ)
- シャワーヘッド ●シャワーホース ●シャワーフック(2個) ●シャワーフック用ビス(4個)

施工に必要な工具

- モンキーレンチ ●シールテープ ●電気ドリル ●アンカープラグ(呼6×30)(4個) ●ドリルビット

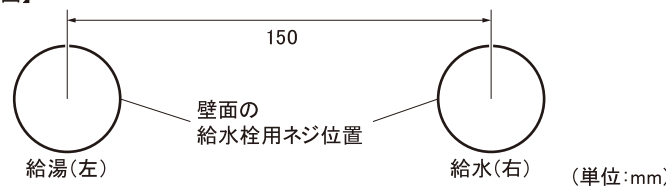
壁	下穴	適合ドリル
コンクリート		6ミリ
ALC		5.5ミリ

取付けの前に

取付条件

取付けの前に、壁面の給水栓用ネジが以下の間隔になるように配管してください。

【正面から見た図】



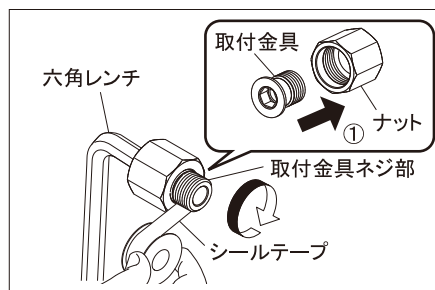
必ず実行

本品は重いので壁の強度をご確認ください。

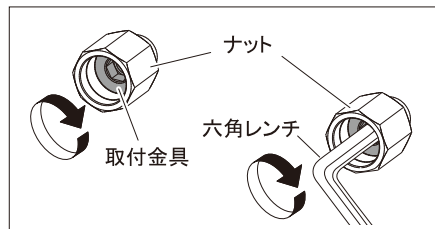
取付方法

*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉じて取付作業を行ってください。

1. ナットを壁に取付けます。



①ナットに取付金具をはめ込みます。
②同梱している六角レンチを取付金具に差し込み、取付金具ネジ部にシールテープを巻きます。軽く引張りながら時計回りに7~8回、ネジ部全体に均等に巻付けます。巻終わったら、シールテープを引きちぎります。

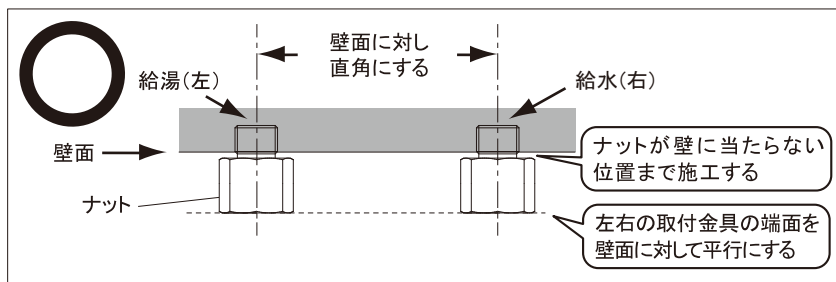


③六角レンチで取付金具(左図)を時計回りに締付けて壁に固定します。
*締付ける際はナットが壁面に当たらないようにしてください。

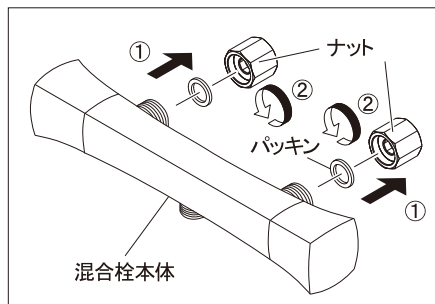
注意

●取付金具を取付ける際、逆方向にまわしてゆるめると漏水の原因となります。もしもゆるめてしまった場合は、もう一度②からやり直してください。
●ナットを壁に当たるまでねじ込むと、混合栓本体が取付られなくなるためご注意ください。

*下図を参考に、取付金具が正しく取付けられていることをご確認ください。



2. ナットに混合栓本体を取付けます。



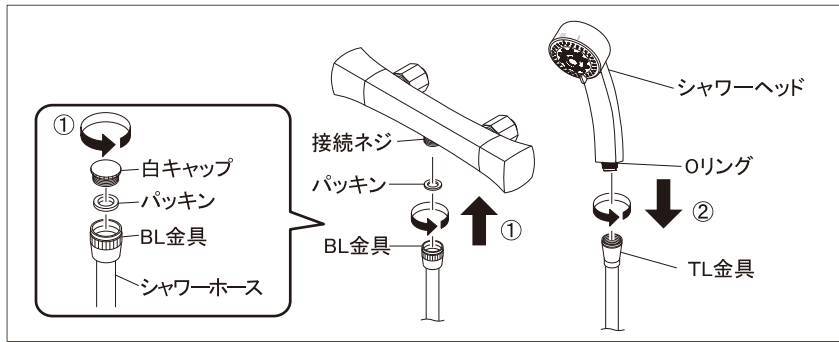
①ナットにパッキンをはめ込みます。片手で混合栓本体をナットにあて、もう片方の手でナットを反時計回りにまわして仮固定します。
*パッキンの入れ忘れにご注意ください。
②最後にナットを増締めし混合栓本体をしっかりと固定します。

注意

混合栓本体は重いので、落下等に十分注意して作業を行ってください。

取付方法(つづき)

3. シャワーホース・シャワーヘッドを取付けます。



- ① シャワーホースのBL金具側の白キャップを取外し、パッキンが入っているのを確認して、手締めで本体下部の接続ネジに取付けます。
- ② シャワーヘッドにOリングが付いていることを確認し、シャワーホースのTL金具側に取付けます。

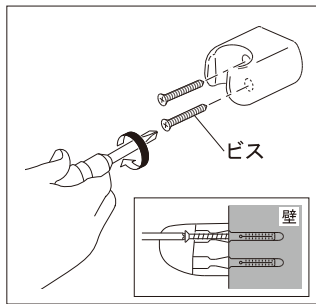


注意

- 取付けの際、手指等にケガをする恐れがあるためご注意ください。
- シャワーホースはねじれ等が起きないように注意しながら、手締めで接続ネジに取付けてください。破損の恐れがあります。
- シャワーホースのBL金具とTL金具の接続を誤るとシャワーフックにシャワーヘッドを固定できなくなりますのでご注意ください。

4. シャワーフックを取付けます。

* 既設のシャワーフックを使用する場合は、「施工後の確認」へお進みください。



ビスをしっかりと締付け、シャワーフックを壁に固定します。
* シャワーフックの取付方向は、シャワーホースの差込口が広い方を上にしてください。

ネジ穴があいていない硬質の壁(コンクリート・タイルなど)に取付ける場合

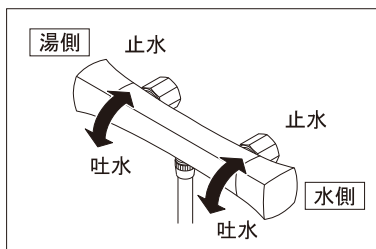
- ① 壁に下穴をあけます。
- ② 下穴に「アンカープラグ」を差込み、壁からはみ出さない程度に軽くたたいて埋込みます。
- ③ 上記と同様にしてシャワーフックを壁に固定します。

施工後の確認

- ① 元栓を開き、各部に水もれがないかを確認します。
水もれが発見された場合は、元栓を閉め、水もれする箇所を施工し直してください。
- ② ハンドルを開き、湯水の混合具合および吐水状態を確認します。

使用方法

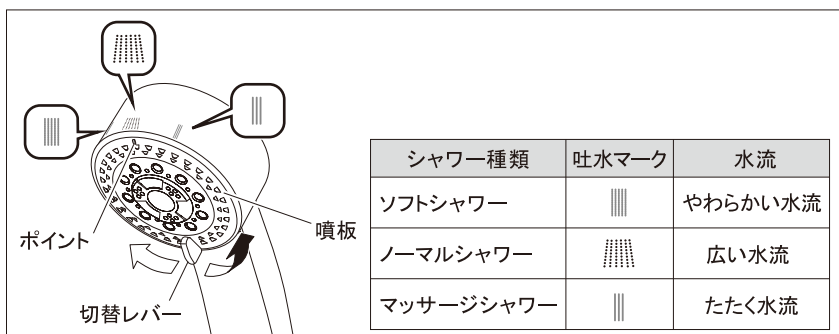
ハンドルの操作方法



各ハンドルを手前にまわすと「吐水」、奥にまわすと「止水」します。

シャワーヘッドの操作方法

切替レバーをまわし、噴板の「0」ポイントをシャワーヘッド本体の吐水マークに合わせると3段階で吐水切替ができます。



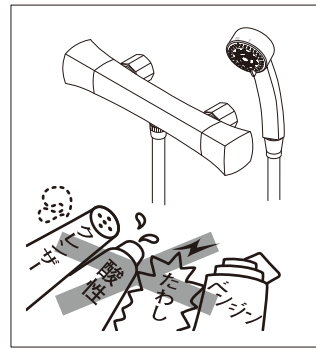
禁止

メッキ面に傷や割れ、剥がれが発生した場合はケガをする恐れがありますので、使用を中止するかテープを巻くなどの応急処置をし、早目に交換してください。

お手入れのしかた

器具のお手入れ

いつまでも美しくご使用いただくために。



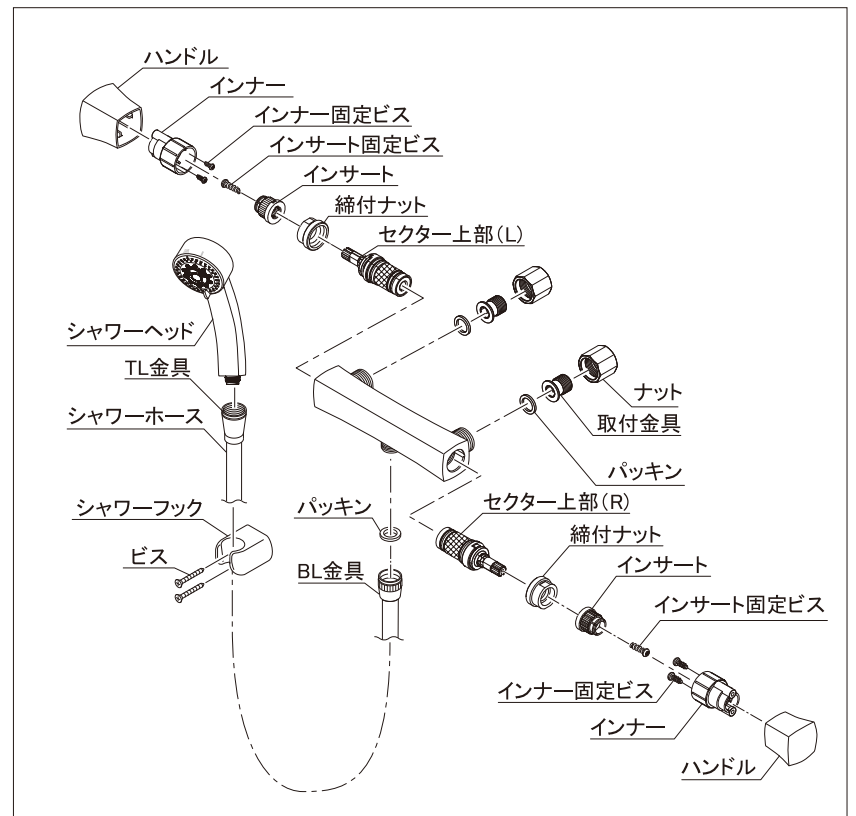
- 水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいでください。
- 水栓器具の樹脂部・塗装面
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。



注意

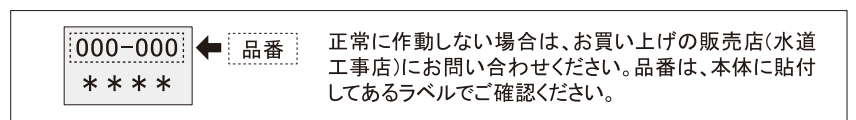
金属たわし、クレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油やアルコール等は、本品を傷めますので使用しないでください。また、塗装面や印字部等にメラミンスポンジを使用しないでください。

分解図



* 品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。
* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

修理を依頼されるときは



正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。品番は、本体に貼付してあるラベルでご確認ください。



本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 名古屋 ☎(052)504-1551 大阪 ☎(06)6730-3391 福岡 ☎(092)611-4611
広島 ☎(082)278-2821 札幌 ☎(011)704-1511 仙台 ☎(022)239-8371

0721GF

M-A4204

無断転載・複写を禁ず